

「ハトロン州ドウスティ郡ナムナ村第45学校新校舎建設設計画」 引渡式

11月20日、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」によりハトロン州ドウスティ郡に建設された新校舎の引渡式が行われました。引渡式には、古田駐タジキスタン大使、クルボンゾダ・ハトロン州副知事及びニションゾダ・ドウスティ郡長らが出席しました。

本計画で我が国政府が113,691米ドルをドウスティ郡に供与し、新しい校舎が建設されたことにより、教室不足が解消され、十分な教育機会が確保できるようになりました。

古田大使は引渡式の挨拶で、教育分野は日・タジキスタン二国間協力において特に重要な分野の一つであり、この支援がタジキスタンの持続可能な発展につながり、日本とタジキスタンの友好が強化されることを願っていると述べました。これに対して、クルボンゾダ副知事及びニションゾダ郡長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計470件、総額約3,920万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

